

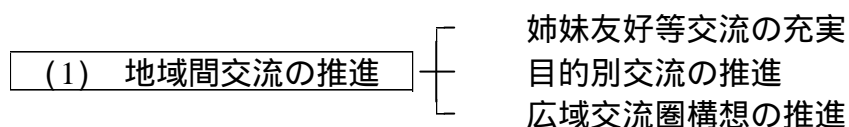
2 国際交流ネットワークの拡充

【基本戦略】

(1) 地域間交流の推進

本県が世界にひらかれた拠点として発展していくためには、行政と民間が連携、協力しながら、アジアをはじめ世界の多様な地域との交流を進めていくことが求められます。

このため、県民の参加のもと、姉妹友好提携先などとの交流の充実に努めるとともに、世界の諸地域を対象にお互いの地域の発展を目指して、地域の個性に応じた特色ある交流事業を推進します。また、より広域的な国際交流の推進を図るため、幅広い視点から共同の取り組みを行うことを検討し、国際交流ネットワークの拡充を目指します。

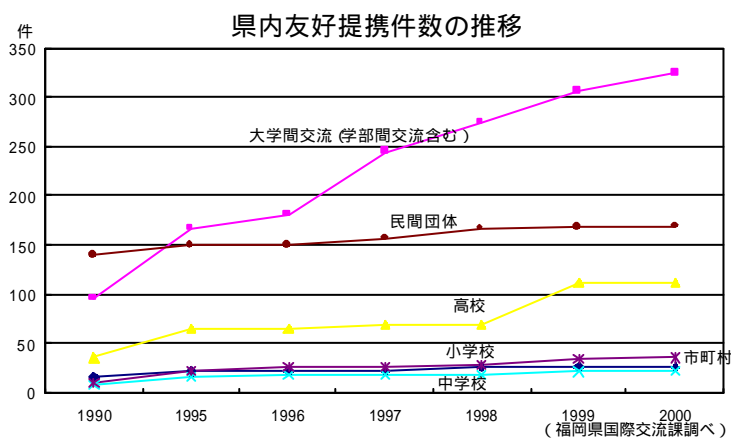


〔施策の方向〕

姉妹友好等交流の充実

本県は、米国ハワイ州、中国江蘇省と姉妹友好提携を行い、韓国南岸1市3道（釜山広域市、全羅南道、慶尚南道、済州道）とも友好関係にあります。今後も相互の発展を目指し、民間交流を促進することにより、交流の多様化を図ります。

また、県内では、13市町村が海外の24の地方自治体と姉妹友好提携を行っており、民間団体や企業、学校・大学なども姉妹友好提携を結び、それぞれに交流・連携を進めています。今後は、これら民間も含めた姉妹友好など交流の一層の充実に努めます。



～ 主な取り組み ～

< ハワイ州 >

ハワイ州交流事業の推進

本県とハワイ州は、スポーツ、文化などさまざまな分野で交流を進めてきました。また、県人会を通じた交流のほか、県立水産高等学校の交流も行われており、今後は連絡調整員を活用しながら、民間交流などの促進を図ります。

< 江蘇省 >

江蘇省交流事業の推進

本県と江蘇省は、これまで行政交流だけでなく、文化、スポーツなどの民間交流を含めた幅広い交流を展開し、友好と相互理解に努めてきました。今後は、友好関係を一層促進し、これまでの成果を礎として民間中心の多様な交流がさらに進展し、両県省がともに発展するように施策の推進に努めます。

青少年交流事業の推進

青少年の相互理解と健全育成を図るため、江蘇省と囲碁等を通じた文化交流を進め、また、江蘇省で日本語を学ぶ学生を受け入れており、今後も県内の学生との交流会やホームステイ等を通じた幅広い青少年の交流を深めます。

スポーツ交流事業の推進

スポーツを通じた両県省間の友好親善と相互理解を図るため、高校生によるサッカー、テニス、バスケットなどのスポーツ交流を行っています。今後はホームステイなどの交流プログラムの充実を図りながら、より幅広い種目にわたるスポーツ交流を図ります。

大学間交流事業の推進

福岡県立大学と南京師範大学は、学術及び教育分野における相互交流を展開しています。今後も、共同研究、教員受け入れ、留学生交換等により一層の交流推進に努めます。

< 韓国南岸（釜山広域市、全羅南道、慶尚南道、済州道） >

日韓海峡沿岸県市道知事交流会議の推進

日韓海峡沿岸県市道知事交流会議は、福岡、佐賀、長崎、山口の4県と韓国1市3道の知事が一堂に会して意見を交わしており、この会議の合意に基づいて、これまで、青少年交流事業、経済交流事業などの8つの共同交流事業が行われています。今後は、日韓両地域の発展と友好にとって効果ある事業を展開するとともに、民間レベルにおける事業の拡大を図るなど、幅広い交流事業の推進に努めます。

日韓交流史理解促進事業の推進

日韓交流史に関係のある専門職員の人的交流を行うことによって、交流史の再検証を行い、その成果を双方が共有することで、日韓のより深い交流と友好の進展を図ります。

青少年交流事業の推進

日韓友好の礎となることを目指して、高校生の相互訪問を実施し、交流会やホームステイ等の交流事業を通して、21世紀の日韓交流を担う青少年の相互理解を深め、友情の絆を強めます。

経済交流促進事業の推進

日本、韓国の両政府間で協議されている自由貿易協定（FTA）*構想やボーダレス時代に対応するため、IT導入や民間への事業移管を視野に入れながら、地域間交流の一層の充実を図ります。

水産関係交流事業の推進

日韓共通海域の漁業の発展及び操業の安全を確保すると同時に、両岸8県市道間の相互理解と友好を深めるため、交流会議の開催や魚類の共同放流などを行います。

住民親善イベント事業の推進

住民レベルの親善を進めるため、日韓両地域の特性に応じたスポーツ、文化イベント事業を共同開催することにより、双方住民の連帯感の醸成と交流領域の拡大を図ります。

〔施策の方向〕

目的別交流の推進

より魅力的な地域づくりを目指して地域間競争が活発となっている一方、自治体間の協力、連携も重要になっており、それぞれの目的に応じた幅広い交流が求められています。

このため、本県のもつ特長を生かしながら、青少年、学術・スポーツ、経済など相互の利益に関わる、幅広い分野での交流事業の開催や支援により、相互の発展を目指すとともに、民間レベルの交流の拡大を促進します。

～ 主な取り組み ～

< 青少年・女性 >

「青少年アンビシャスの翼」事業の推進

グローバル化が進む21世紀において、世界に伍してたくましく生きる力を身につけた青少年を育成するため、海外において外国の青少年と交流、切磋琢磨するサマーキャンプを実施します。

「グローバルウィング（福岡県青年の翼）」事業の推進

国際的な視野を備えた青年リーダーを育成するため、海外でのボランティア体験、ホームステイやテーマ研究等を取り入れながら、青少年の育成を推進します。

*自由貿易協定（FTA）：2カ国以上の国々の間で関税・非関税措置などを引き下げ、経済的な結合を強める協定。日本はシンガポールとの間で2000年3月から検討作業を開始し、韓国やメキシコとの間でも共同研究を進めている。

「ヤングネットワーク・ウィング九州」事業の推進

中国・韓国への視察、ホームステイや青年との意見交換を通して、九州各県の青年たちが国際的視野を広げ、地域社会に貢献する青年リーダーの育成を図ります。

「若い農業者育成対策」の推進

農業青年などの国際感覚を養成するため、ブラジルや欧米で研修を実施し、地域農業を支えるリーダーの育成を図ります。

「アジア太平洋こども会議・イン福岡」事業の促進

21世紀の海外諸地域と本県の架け橋となる子どもを育むため、アジア太平洋諸国・地域の子どもたちとの相互交流を通して、文化や生活習慣の違いを理解し国際感覚あふれる青少年の育成を図ります。

インターネット国際交流教育推進事業の拡充

英国及び米国を中心とした諸外国の中・高等学校の生徒とインターネットを介した交流を行うことによって、国際理解教育の推進と情報リテラシー*1の涵養を図るとともに、相互交流の一層の推進を目指しており、今後は韓国南岸など幅広い地域との交流に努めます。

「女性研修の翼」事業の推進

政策・方針決定の場への女性の参画等女性のエンパワーメント*2や女性の地位向上を図るため、先進国の各種制度、施設の視察・調査や人との交流を通じて、女性問題に対する意識を高め、国際的な視野をもつ女性リーダーの育成に努めます。

< 経済 >

アジア・欧米経済ミッション派遣事業の推進

アジア諸地域や欧米に経済ミッションを派遣し、ビジネス商談会や投資環境調査、経済セミナーなどを開催して、ビジネスチャンスの拡大を図るとともに、技術、資本など各種提携を視野に入れた交流の促進に努めます。

異業種交流事業の推進

近年中小企業の経営環境が厳しくなる中、相互の利益を目指して海外との交流も視野に入れる必要があります。このため、県内と海外の異業種グループとの交流の一層の活発化を図り、技術開発力の向上や販路の開拓に努めるとともに、新たな事業の創出を目指します。

*1 情報リテラシー：パソコン等の情報通信機器を操作したり、情報に関連する制度等についての知識、倫理、など情報化社会に対応するための基礎的な能力。

*2 エンパワーメント：「力をつけること」を意味する。女性が自らの意識と能力を高め、政治的、経済的、社会的に力をもった存在になることであり、1995年の第4回世界女性会議では女性のエンパワーメントが主要課題の一つとなった。

< 学術・文化・スポーツ >

大学間交流の促進

アジア諸地域における大学間の交流の一層の拡大を目指して、九州歯科大学と韓国延世大学、中国同济大学（旧上海鉄道医学院）の間では、共同研究、教員受け入れ、留学生交換などの交流を推進します。

また、県内大学で学ぶ教職課程履修生と韓国教員大学校の学生を相互に派遣するなど、今後も、日韓の大学間のネットワークの強化を進めます。

このほか、県内の大学・短大は学部間交流も含め 300 件を超える姉妹友好校の提携を行っており、今後も、より一層の大学間交流を促進します。

市町村との連携

福岡市では、毎年 9 月に「アジアマンス」を開催し、アジアの文化、芸術、学術等に関する県民・市民の理解を深めています。また、北九州市の国際音楽祭や飯塚市などの「国際車いすテニス大会」も国際交流の拡大に寄与しています。このような市町村の取り組みとの連携によって、県民レベルの交流を促進します。

〔施策の方向〕

広域交流圏構想の推進

アジア大陸への最前線に位置する本県は、アジア地域との持続的な発展のために、近隣の諸地域とともに広域的な交流圏を形成していくことが期待されています。また、共通の課題に対して、幅広い視点から情報や意見を交換し、共同の取り組みを行うことは、それぞれの地域の発展につながるとともに、世界の安定と繁栄にも寄与していくと考えられます。

このため、相互の発展を目指し、国内外の産学官との連携を図りながら、経済、技術、文化などの幅広い分野において交流・協力を展開する広域交流圏構想を推進します。

～ 主な取り組み ～

環黄海経済圏形成の推進

九州経済産業局、九州各県によって構成される環黄海経済・技術交流会議を通して、環黄海地域を中心とした貿易・投資・技術交流などの更なる拡大を目指し、地域連携の先導的モデル地域としての環黄海経済圏の形成を図ります。また、北東アジア地域における交流について研究を進めます。

米国西海岸との交流の推進

IT やバイオテクノロジーなど先端的な産業の集積が目覚ましい米国西海岸地域（ワシントン州、オレゴン州、カリフォルニア州）と経済や教育など幅広い分野で相互の交流を推進します。

広域的な地域連携の促進

北九州市と福岡市が参加する「東アジア（環黄海）都市会議」*₁ や福岡市の提唱による「アジア太平洋都市サミット」*₂ などの都市連携に見られるように、都市問題の解決を共通のテーマとしたネットワーク化が図られており、今後ともアジア諸地域との広域的な連携を促進します。

*₁ 東アジア（環黄海）都市会議：環黄海地域の都市間交流を促進し、相互地域の発展を図るため、1991 年以来毎年、大連、青島、天津、煙台（以上中国）、仁川広域市、釜山広域市、蔚山広域市（以上韓国）、北九州、福岡、下関（以上日本）の各都市が会議を開催し、共同事業を実施している。

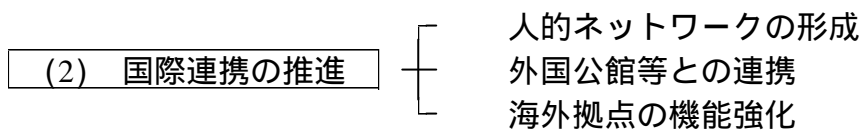
*₂ アジア太平洋都市サミット：アジア太平洋の都市の連携とネットワークの構築をめざして、1994 年以来隔年で、交通、住宅や環境・衛生など都市行政に関する意見交換等を行っている。参加都市はアジア太平洋地域の 13 カ国・地域、25 都市（うち日本 9 都市）。

【基本戦略】

(2) 国際連携の推進

本県が、国際的に多様な交流、協力関係をつくるためには、海外の人的資源や海外関係機関との連携によるネットワークの構築が不可欠です。

このため、本県に在住経験のある外国人や本県出身の海外在住者などとの連携を推進することによって、人的ネットワークの拡大と強化を図ります。また、本県の情報発信機能を高めるために外国公館などとの連携を推進します。さらに、海外との交流や情報収集を一層促進するために、本県海外拠点の機能の拡充や関係機関の海外拠点との連携を図ります。



〔施策の方向〕

人的ネットワークの形成

本県が世界に開かれた地域として認識されるためには、学術、文化、経済などによる広域的なつながりと、本県と関わりのある世界の人々との連携を強めることが大切です。

このため、世界の多くの地域において幅広い活動を行っている海外の県人会との関係を強化するとともに、在学中の留学生や帰国後の留学生などとのネットワークの形成を目指します。

～ 主な取り組み ～

本県在住経験者などのネットワーク化

帰国留学生と本県とのネットワークを築くため、海外駐在員、友好協会などの協力を得て、インターネットを使った情報交換の充実を図るとともに、帰国留学生の組織づくりに努めます。

また、「九州アジア大学」では、アジア出身の留学生及び日本人青年が合宿し、共同研究を行うことで、青少年のネットワークの構築を図ります。

さらに、諸外国のオピニオンリーダーを本県に招致し、本県の国際的な知名度の向上や海外との人的ネットワークの形成を図ります。

海外県人会との関係強化

移住者による県人会は、長い歳月をかけてそれぞれの在住国で確固たる地位を築いており、本県と海外諸地域との交流の促進を図る上で重要な存在です。このため、県人会の将来を担う移住者の子弟を本県に受け入れるなど、交流の一層の促進に努めます。

また、海外での勤務者によって組織されている県人会は、海外における本県の情報発

信に寄与しており、今後は海外駐在員の活用により一層の関係強化に努めます。

さらに、海外福岡県人会同士の交流の場として、これまでロサンゼルス、サンパウロ、ホノルルで3年に一度、世界大会が開催されており、2001年の福岡大会を契機として本県との交流及び海外県人会相互の交流の促進を図ります。

< 海外移住福岡県人会 >	メキシコ福岡県人会 (メキシコ)
バンクーバー福岡県人会 (カナダ)	在パラグアイ福岡県人会 (パラグアイ)
レスブリッジ福岡県人会 (カナダ)	在ボリビア福岡県人会 (ボリビア)
トロント福岡県人会 (カナダ)	コロンビア福岡県人会 (コロンビア)
ハワイ福岡県人会 (米国)	在アルゼンチン福岡県人会 (アルゼンチン)
ハワイ島福岡県人会 (米国)	ペルー福岡クラブ (ペルー)
コナ福岡県人会 (米国)	
カウアイ福岡県人会 (米国)	< 海外での勤務者による県人会 >
南加(カリフォルニア)福岡県人会 (米国)	フランス福岡県人会 (フランス)
サンフランシスコ福岡県人会 (米国)	在ロンドン福岡県人会 (英国)
湾東福岡県人会 (米国)	北京福岡県人会 (中国)
シアトル福岡県人会 (米国)	上海福岡県人会 (中国)
ブラジル福岡県人会 (ブラジル)	香港福岡県人会 (中国)
ベレン福岡県人会 (ブラジル)	バンコック福岡県人会 (タイ)
トメアス福岡県人会 (ブラジル)	飛梅会福岡県人会 (インドネシア)
マナウス福岡県人会 (ブラジル)	博多会福岡県人会 (韓国)

〔施策の方向〕

外国公館等との連携

外国公館などとの連携は、本県と当該国との関係を緊密にし、本県の受発信機能を向上させる上から極めて有益です。

本県には、22の外国公館（総領事館・領事館、名誉領事館*）、15の外国政府機関が設置され、経済、文化・教育など幅広い分野にわたって、交流が行われています。一方では、EUのように国際社会において存在感を高めている地域との、交流の窓口を設置していくことも求められています。今後は、新たな外国公館等の誘致を図りながら、既存の機関との連携を一層強化するとともに、アジアの拠点機能を高めるために本県の積極的なPRに努めます。

*名誉領事館：名誉領事は、外務省の認証を受けて各国政府の事務代行を行っている民間人であり、名誉領事館は名誉領事が駐在する施設。県内には17カ所の名誉領事館がある。

～ 主な取り組み ～

海外への情報発信の充実

国内の在日外国公館等の職員を本県に招致し、県勢や先進的かつ独創的な取り組みについて理解を深めてもらうなど海外へ向けた情報発信の充実によって本県の知名度の向上を図ります。

産業事情調査の実施

産業関連施設の視察などによって在福の外国公館、貿易投資機関の職員に県内産業やビジネス環境についての理解を深めてもらうとともに、商工関係者との間の意見交換の場を提供することによって、外国企業や新たな外国公館、外国政府機関の誘致を促進します。

本県への外国公館・外国政府機関などの設置時期

年	1950	1960	1970	1980	1990	1995	2000
外国公館	・米国領事館		・韓国総領事館		・中国総領事館	・カナダ領事館 ・オーストラリア領事館 (2000,3 総領事館に昇格)	
外国政府等機関	・アメリカンセンター			・九州日仏学館 ・韓国観光公社	・韓国貿易センター ・韓国教育院	・タイ国政府貿易センター ・タイ国政府観光庁 ・フランス大使館経済商務部 ・フィリピン政府貿易投資事務所 ・プリティッシュ・カウンシル	・国連人間居住センター(現・国連ハビタット) ・スリランカ貿易投資事務所 ・英国貿易促進事務所

〔施策の方向〕

海外拠点の機能強化

海外において経済や文化などの交流活動をより活発に行うためには、海外拠点の果たす役割は重要であり、各種情報の収集発信機能の拡充など、一層の活用を図る必要があります。

このため、海外の本県駐在員や研修生、日本貿易振興会（ジェトロ）など関係機関との連携によって、貿易、観光、企業誘致などの事業の促進に努めます。また、国際環境の変化に対応した新たな展開を図るため、現地情報の把握・分析、県民の海外での交流活動の支援や本県の海外でのPRなどを通して、海外拠点の機能強化に努めます。

～ 主な取り組み ～

海外駐在員などの活動の充実

海外駐在員事務所（香港、ソウル、バンコック）では、海外からの企業誘致や県内企業の貿易・投資の促進、フクオカベンチャーマーケットへの参加促進のほか、企業、県民の国際的な活動を一層推進します。また、米国、ドイツ、マレーシア、中国などの各地に研修生を派遣し、本県の情報収集拠点としての積極的な活用を図ります。

国の機関などとの連携強化

海外情報の収集のため、日本貿易振興会、（財）自治体国際化協会、国際交流基金*、国際協力事業団などの海外事務所や、北九州市大連事務所、福岡市シンガポール事務所と連携して、県事業の海外展開の充実を図ります。

*国際交流基金：日本と諸外国との国際相互理解の増進と国際友好親善の促進のため、1972年に設立された国際文化交流事業を行う特殊法人。